

生徒・教師・保護者の協働による学力向上の取組

城陽市立東城陽中学校

はじめに

本校は、「生徒全員が包み込まれているという感覚を実感できる学校」を目指し、学校スローガンを「挑戦（創造・向上）」・「自覚（自立・自律）」・「仲間（共生・協働）」とし、一人一人を大切にす
る教育活動に努めようとしている。本年度の重点課題は「学力の充実・向上」「生徒指導・特別支援
教育の充実」「人材育成」で、チーム東城陽としてR P D C Aサイクルによる学校改善を進めている。

全国学力・学習状況調査の結果における特徴

調査結果について、教科の状況、個人の状況、経年比較、質問紙調査から見える実態や変容を学力
充実部を中心に分析して研修会で全職員が共有し、改善の具体化を図っている。また、保護者に対し
ても説明会等で状況及び改善策を説明している。

1 学力分析：主な状況（□：相当数の生徒ができています ■：苦手としている）

【国語】□登場人物の心情を読み取ったり、言動の意味を考えたりすること

■語彙力 ■文章の構成を工夫したり、根拠を明らかにし自分の考えを書いたりすること 等

【数学】□数と式の領域 □必要な情報を適切に読み取ること

■関数の領域 ■方針を立てて証明したり、事象を数学的に解釈したりすること 等

2 質問紙調査から見た主な成果と課題（□：成果 ■：課題）

□授業の始めに「ねらい」を示している □本やインターネットを使って調べる活動が多い □自分
にはよいところがある □先生は生徒のよいところを認める 等

■家で学校の授業の復習をする ■授業の中で分からないことがあれば、その場で先生に聞く ■休
日に勉強をする ■テレビゲーム、携帯・スマホでメールやインターネット ■新聞を読む ■自分の
考えを説明したり、文章に書いたりする ■話し合いを通じて考えを深めたり、広げたりする 等

学力の充実・向上における主な取組

授業における取組

1 「わかる授業のための17ヶ条」による目指す 授業像の明確化



〈授業風景〉

〈目指す授業像 ※ホームページに掲載〉



(1) 作成に当たってのねらいと留意点

- ・本校の研究主題を具現化するための目標となる授業スタンダードとする。
- ・学力の3要素を身に付けるための具体的方策を盛り込む。
- ・生徒の自尊感情を高める授業の在り方を考える。特に生徒指導の3機能を生かす。
- ・ユニバーサルデザインの3つの視点「焦点化」「視覚化」「共有化」を生かす。
- ・全国学力・学習状況調査の質問紙調査結果を反映させる。
- ・校内研修会「言語活動」「学習の意欲・関心」「読解力（特に書く）」「評価・評定」を実施後、
目指す授業像について全職員の意見と生徒のアンケート結果を反映させる。
- ・生徒・保護者が見てもわかりやすいものとする。

〈授業研究会〉



(2) 具体的取組と実践

- ・目指す授業像を全職員が日常の授業で具現化する。
- ・17項目のうち特に留意する点を焦点化し、毎学期授業研究会・事後研究会を実施する。
 - ①「ねらいの明示」(昨年度の重点項目):授業の初めに「ねらい」をはっきりさせることで、生徒に見通しを持たせたり意欲を喚起したりする。
 - ②「丁寧な振り返り」(今年度の重点項目):生徒の質問紙調査結果や生徒・教職員の評価アンケート結果により設定した。
- ・学校評価アンケート等により保護者・生徒からも直接声を聞き改善する。

2 生徒の「大切にしたい授業の心構え15項目」による学習スタイルの確立

○全職員の意見と生徒のアンケート結果をもとに作成した。

○自己評価の実施:生徒は月末と学期末に全項目を振り返り評価をする。

それにより学校全体の成果と課題を明らかにする。

※特に、3年生は振り返りをする毎に、各項目の伸び率がどの学年よりも高かった。

- ・伸び率が25%以上の項目:□教室を美しく保っている □先生の話や友だちの発表は姿勢を正して聞いている □友だちの意見や考えを聞くなど練り合って、考えを深めている
- ・100%に達成した項目:□忘れ物がないよう準備をしっかりとっている □授業開始時間を守って席に着いている □観察、実験や実習・実技等に真剣に取り組んでいる



〈授業の心構え〉

3 小中高連携

○小中連携(1中2小)



〈小中連携〉



〈出前授業〉



〈南陽高校生による演武〉

- ・教科のつながり:3校で教科部会を設定、全職員が所属、授業研究会を年2回実施している。
- ・学力部、生指部、特支部の設定(今年度より改善):授業とともに生活の目標を共有する。

○中高連携

- ・出前授業:高校の先生による出前授業を実施し、生徒の興味・関心・意欲を喚起させる。
- ・高校生を招待:各分野でがんばっている「ほんものの高校生」の姿を直接見せる。

授業以外の取組



〈1年宿泊学習〉

1 丁寧なガイダンス

- 1年次5月宿泊体験学習により中学での学習方法を徹底指導(鍛える視点)
- 家庭訪問でシラバスを配布、学習内容を知らせ、家庭学習の支援を依頼

2 家庭学習の工夫

- 「カクダス」の取組:全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、また、「ことばの力」の育成の具体的な方策として、全校で新聞を活用した週末課題を実施している。

【目的】・文章を書き写す力、文章を読み感想・意見を書く力、文章を要約する力、美しい言葉を感じ取る力等多様な「ことばの力」を総合的に育成する。

- ・家庭の協力のもと生徒の学習習慣の定着と主体的な学習態度を育成する。
- ・時事的な出来事や未知の分野に触れ、考察する態度など知的好奇心を育てる。

【内容】①新聞記事の書写 ②意味調べやキーワードの抜き出し ③気付いたことや感想 ④要約

【成果】丁寧な書写、更には意欲的に要約や感想を書くなどより高いレベルを目指す生徒も増えた。



〈カクダス〉

3 補充学習

- 中1ふりスタ、中2学力アップ、3年進路対策補習、定期テスト前の「家庭学習応援プリント」による学習会等を実施している。